

# 梁川ホームだより

●令和2年8月27日発行

No.  
60

## 発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 星 祐一  
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024(577)6111㈹ FAX 024(577)6115  
■ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

## 事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I型
- デイサービスセンター II型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設  
[梁川ホーム運営理念]  
安全・安心・ゆとりの

## 梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

2. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。



祭

特養・デイサービス・ケアハウス、  
それぞれで夏祭りを開催しました

祭



# 特集59 「人間尊重の施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

令和2年度  
苦情解決委員会を開催しました



信達福祉会では、施設等の利用者および家族の皆様から、福祉サービス等に関して苦情の申出があった場合、第三者委員の方々に内容等を報告し、ご助言をいただきながら誠意を持って苦情の解決を図るため、法人苦情解決委員会を設置しています。

今年度も8月4日に苦情解決委員会を開催し、前年度の事故状況、身体拘束廃止の取り組み、苦情受付状況について報告しました。

梁川ホームの昨年度の状況は、利用者ケア、職員の対応についての苦情・相談の報告が5件、要望及び身体拘束の報告が0件、事故の報告が84件（特養、ショートステイ、デイサービス）、



信達福祉会では、施設等の利用者および家族の皆様から、福祉サービス等に関して苦情の申出があった場合、第三者委員の方々に内容等を報告し、ご助言をいただきながら誠意を持って苦情の解決を図るため、法人苦情解決委員会を設置しています。

ケアハウスの合計)でした。施設サービス利用中の職員の対応や、送迎時の対応などを含め、日常業務の場面で皆様から要望と期待を寄せていただいた結果と考えております。法人顧問弁護士からは、一つ一つの苦情をそれのみの対処で終わらせるのではなく、そこから一般的な注意すべき点を見つけ出せるか、他の利用者にも通用するような行動

計画やマニュアルを作成するなど、今後同じような事が起こらないようにするにはどうしたらよいかという視点で見てほしい。また、申立人は今後もこの法人でサービスを受けたいので、この点を改善してほしいということを伝えて下さっているというアドバイスをいただきました。

苦情・相談から学び続け、安心と信頼を家族・地域社会とつなぎ、継続していくことが、梁川ホームが高い評価をいただける取組みと考えます。  
(秋葉)

## 苦情解決第三者委員会

小野英男様(人権擁護委員)

☎(577)1355

桃井文市様(人権擁護委員)  
☎(577)2682

新たに就任しました

信達福祉会理事長

梁川ホーム園長

6月19日の理事会において岡崎康之前理事長の退任を受け、理事互選の結果、佐藤正紀常務理事兼梁川ホーム園長が理事長に就任致しました。また、後任の常務理事兼梁川ホーム新園長に星祐一が就任致しましたのでよろしくお願い致します。

信達福祉会理事長

佐藤 正紀



梁川ホーム園長

星 祐一





面会テーブルを  
アクリルポートで仕切りました



オンライン面会



オゾン発生器をこのように  
使っています。



(佐藤)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、梁川ホームにおいても感染症対策に取り組んでいます。

面談スペースのアクリルボード設置、さらに新型コロナウイルスに効果を發揮する健康チェックの実施や

するとされるオゾン発生器の導入など、利用者が安全にそして安心してサービスをご利用いただけるよう、様々な対策を講じております。

現在はご家族の面会をオンラインを活用したWEB面会とさせて頂いたり、毎年恒例の夏祭りなどのイベント等も中止させて頂いたりと、利用者には、何かと

ご不便な生活を過ごしています。

梁川ホームのサービスをご利用されているすべての職員一丸となつて感染症対策を継続してきたいと思いますので、いましばらくご協力お願いいたします。

### 「基本対策とオゾンと アマビエと」

前の検温や手指消毒の徹底、定期的な換気はもちろんですが、すべての来訪者に対する健康チェックの実施や



コロナを撃退！



## 梁川ホーム感染症対策



梁川ホームの守護神  
アマビエ様

忘れちゃいけない対策が特養入口に設置した『コロナ撃退対策部長』の存在です。新型コロナウイルスの沈静化を祈つてイラスト化された妖怪アマビエ。これを模った七夕飾りが、施設内にコロナウイルスが侵入するのを防いでいます！



## 特養 梁川ホーム

今年の夏祭りは新型コロナウイルスに伴う感染症対策の為、ご家族を招いての開催はできませんでしたが、密集を避け、特養内で開催する事が出来ました。太鼓の演奏ではその音に圧倒され驚いていた姿も見られましたが、音楽に合わせ、手拍子をしたり、盆踊りのリズムに合わせて踊ったり、頷きながらリズムをとる様子も



2020年 梁川ホーム

見られました。  
また、小太鼓をリズムよく叩いたり、太鼓を叩きながら感動し涙ぐむ利用者もいらっしゃいました。かき氷、わたあめを頬張りながら、久しぶりのお祭りの雰囲気を楽しんでいただけたようです。来年は例年通りの夏祭りが開催できる事を願っています。

(柳沼)

## 夏祭り



5月下旬から6月上旬にさつま芋、キュウリの苗を植えました。天気にも恵まれ晴天の中、皆さん慣れた手つきで植え、無事に畑作りをすることができました。自分たちで植えた苗の成長や秋の収穫が楽しみですね。

(菊地)

## 畑作り



**七夕**

七夕に向けて飾りを作りました。紙の輪や提灯を作り、短冊に一人一人願い事を書きました。「健康で元気に過ごしたい」、「おいしくご飯が食べたい」など、様々な願いがありました。



デイサービスでは、少しでも皆さんに楽しんでいただけのよう、新しいレクリエーションを企画し実施しています。新ゲームの「○×クイズ」では、身近にある物の中や動物の中から問題を出題し、大変、盛り上がりました。

今年は、初の試みでデイサービス独自の夏祭りを開催しました！ 夏の定番、かき氷を始め、金魚すくい、ボーリング大会、相馬盆歌での盆踊りを準備し、大変、賑わいました。  
(佐々木浩)



### デイサービスⅠ型

## デイサービスセンター

梁川ホームデイサービスセンターでは、一般型のデイサービスをⅠ型、認知症対応型デイサービスをⅡ型としてサービス提供しています。



### —制作活動— 紫陽花と風鈴



室内で過ごす事が多い中、季節を感じ、眺めても楽しめる持ち帰り作品制作を行いました。身近にある物を再利用し、紫陽花や風鈴を作りました。



身近にある材料を使い、母の日には、カーネーションを作りました。細かい作業ではありましたが、とても綺麗に仕上げることができました。また、梅雨でジメジメした空間を涼しく！と、うちわ作りをしました。障子紙に色染めをする所から始まり、それぞれ個性溢れる作品を仕上げました。

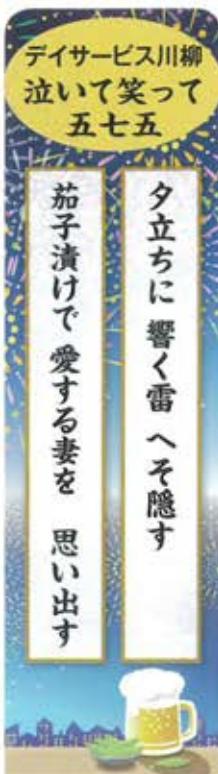
### —制作活動— うちわとカーネーション



しぶりのドライブに皆さん喜ばれ、素敵な写真を撮ることができました。久山舟生の「くぼたあじさい園」と靈山の「徳が森」へ出掛けることが出来ました。久

### デイサービスⅡ型

### ドライブ



春先に撒いた種が無事に育ち、ジャガイモを収穫することになりました。今後、収穫したジャガイモを使って、夏野菜の煮物を作る予定です。

### ジャガイモ収穫

ライブに皆さん喜ばれ、素敵な写真を撮ることができました。



デイサービスⅡ型でも、夏祭りを開催しました。初めての試みでしたが、皆さんの協力もあって大成功に終わりました。  
(佐々木千)

### ○夏まつり○





## ケアハウス広瀬

### 夏祭り



たき、その演奏を聴きながら、かき氷を食べゲームや水風船吊りをすることがで楽しみ、笑顔が絶えない時間を過ごされました。



### 輪投げ大会

毎年参加している、福島県養護軽費老人ホームケアハウス連絡協議会主催の輪投げ大会がコロナウィルスの影響で中止となりました。

毎年参加を楽しみにされ、毎日輪投げの練習に励んできた入居者の皆様は、とても残念な思いに駆られたことと思います。

そこで輪投げ大会を開催しました。大



会のように真剣に、時には笑顔を見せながら輪投げを楽しんでいました。

来年はコロナウイルスの



(大槻)



終息と大会が開かれることを願い、今日も輪投げの練習に励んでいます。



今年もケアハウスの畑で入居者の皆様と一緒にじやがいもや里芋、枝豆等の野菜を植えました。最初に収穫できた『じやがいも』を使い『じやがいも餅』を作りました。



甘い味噌だれを付けて食べる『じやがいも餅』は皆さんにとても好評でした。

### じやがいも餅





7月1日 梁川中学校1学年の生徒全員が、サポーター養成講座を受け取りました。

養成講座の中で、認知症の症状が悪化するかもしれない「好ましくない対応」と反対の「安心する対応」について生徒たちに考えてもらいました。生徒の皆さんは、認知症を理解するDVDを観て、具体的な情景を思い描いていたと思いま

梁川地域包括支援センター  
電話 024(572)4872



サポーター養成講座読本より

た。7月1日 梁川中学校1学年の生徒全員が、サポーター養成講座を受け取りました。

福島県内においては、認知症サポーター養成講座で学ばれた方は16万人以上になります。認知症には、アルツハイマー型やレビー小体型、前頭側頭葉型、さらにはまだ認知症には至っていない軽度認知障害などがあります。しかし、その対応方法は一律に同じではなく一人ひとりに合わせた対応が求められます。さらに、今後増加が見込まれる認知症高齢者の生活を支えるために私たちには、認知症の理解をしていかなければなりません。

その為にも今回認知症サポートーとなつた中学生の皆さんに、認知症になつた人を手助けしたい、認知症おひさまカフェは、認知症力カフェとも呼ばれています。認知症力カフェとは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れる力カフェのことです。地域の人たちとのつながりを作りきつかけができる場所です。そこでは地域の住民、介護の専門職など誰もが参加できる場所として、お茶を飲みながら相談や交流を深めることができます。



梁川地域包括支援センターは、月1回程度「おひさまカフェ」を開催していましたが、現在はコロナ禍の影響で実施できていません。新型コロナウイルスが落ち着いたら再開いたしまでの影響で実施できていません。複数の病院にかかりれている方は、これまでの経過を良くわかつている医師にお願いしてください。かかりつけの医師のいらっしゃらない方は、健康診断やインフルエンザの予防接種等を毎年同じ医療機関とし、そこを自分のかかりつけ医としてすることをお勧めします。

（原田）

（原田）

（安藤）



地域の人たちが気軽に集い、認知症の人や家族の悩みを共有し合いながら、専門職に相談もできるそのような場所となっています。力カフェという自由な雰囲気のなかで、支える人と支えられる人という隔てをなくして、地域の人たちが自然に集まる新しい場所です。

（原田）

（安藤）

梁川ホーム  
指定居宅介護支援事業所  
電話 024(577)6107  
あなたの  
かかりつけ医は?

**(豆知識) マスクの着脱方法について**



マスクは主に2つの役割があります。一つは細菌やウイルスの飛沫、花粉などを吸いこまない為の対策、そしてもう一つは自分が咳やくしゃみをした時に、周囲へウイルスの飛沫を軽減する役割があります。



最近のマスクはウイルスや花粉に対するフィルター性能が非常に高い製品が多くあります。が、間違った付け方をすると、マスクと顔の間に隙間ができてしまい、高い性能を発揮することができません。マスクを正しくつけるために、上下や裏表をしっかりと確認しましょう。

- ② ノーズフィッターを鼻の形に合わせる。
  - ③ ノーズフィッター部分をおさえて顔にフィットさせながら耳にゴムをかける。
  - ④ 顔の大きさに合わせマスクを広げる。
- ※ここでポイントとなるのは、マスクを顔全体にフィットさせる事です、隙間を作ってしまうと、ウイルス等が侵入しやすくなる為、対策が十分にできません。特に鼻や頬の周りに隙間ができるやすいので注意が必要です。



**■定期実習等**